

イクメン紹介

「12年間お世話になりました。」

後藤 賢さん(年長児 椿さんの父)



早いもので長男の大夢(12歳)がお世話になってから、12年になりました。最初の子どものこともあり手探りの子育てで、家内やその当時の先生という話しをしながら、すごく手と目をかけて育てていた気がします。「そっちに行ったら危ないよ」とか「食事は遊ばないできれいに食べようね」とか、そのせいか兄姉の中で一番神経質です。次男の陽人(10歳)はまったくその逆で、長男に結構うるさく言ってしまったので「のびのび育てようか」という思いで、食事手づかみOK!! 顔中ご飯粒だらけの写真も残っています。たまに見返すと微笑ましくなりますが、ものすごい自由人が出来上がってしまいました。将来の夢は、バックパッカーになって世界中に行ってみようという感じです。

最後の大き取が長女の椿(5歳)です。念願の女の子ということもあり、産まれて少し経った一番かわいいころに家族総出で甘やかしてしまったのが良かったのか悪かったのか、もの凄くわがままに育ってしまい今ではみんな手をやいています。本当に、三人三様に育っていますが保育園で出会った先生や友だちの想い出は、三人とも大切に成長していくと思います。親ともども大変お世話になりました。ありがとうございました。

「娘との距離」

神尾 陽平さん(0歳児 ひかりさんの父)

4月から保育園でお世話になっていますが、元気に遊んでいる娘を見ると、保育園生活に馴染めるか心配していた頃が懐かしく思えます。



娘はママ大好きで、何でも真似をしたがり、しがみついて離れず、ママが隣にいないと不安で眠れなかったりします。一方、私に対しては、今は覚えてくれたようですが、メガネを外しただけで誰か分からなくなったり、迎えに行くと「あれ?なんで今日はパパなの?」と、きょとんとした顔で私を見つめたり、ママがいる時とのテンションの違いに驚くことが度々ありました。

育メンパパと呼ばれる程、積極的に子育てに参加している現状ではありませんが、周囲の親御さんを見習って日々精進し、父親として関われる時はしっかりと関わりながら、娘の成長を見守り、サポートしていきたいと思っています。家族と一緒に過ごせる時間を大切に、「パパがいい」が少しでも増えてくれればいいなと願いながら、子育てを楽しみたいです。

「幸せを感じる一瞬」 大滝 努さん

(2歳児 琉介くん 0歳児 梨紗さんの父)

3歳のひょうきんでちょっと弱虫な琉介。1歳児の好奇心旺盛で食いしん坊な梨紗。最近、仕事が忙しくなり帰る時間が遅くなるため、なかなか平日は一緒に遊んであげることができません。帰ると二人とも寝ている事もしばしばですが、少し早く帰ると満面の笑顔で出迎えてくれます。その笑顔を見た瞬間に仕事の疲れも和らぎます。たまには、子どもたちと一緒に風呂に入ります。体を洗ったりその日の保育園での話を聞いたり、少しの時間ですが子どもと触れ合いホッとできる瞬間が嬉しく思います。毎日の保育園での生活でいろんな事を覚え、踊りやお絵かきや仕草を見ても日々の成長がとても嬉しく、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。子ども達がこれからもっと成長していくのが楽しみです。いつも笑顔でいてくれてありがとう。



編集後記

昨年度から「食事の大切さを理解し、食事のマナーを守って、友達と楽しく食べる子ども」に育ってほしいと願い、様々な食育活動に取り組んできました。本号は、2年目となる保育者の園での食育活動の取り組みの様子や子どもたちが自然に触れ、いきいきとした姿をお伝えしたいと思います。

中のホッポ

第19号 2015年3月1日

「食」の大切さを伝えたい
「おいしい!」がわたしたちに
くれるもの part.3

社会福祉法人 米沢仏教興道会
興道北部保育園
米沢市塩井町塩野1476-1
TEL 21-5070 FAX 21-5128

育児講座



11月1日、トーカイの方を講師に招いて「デコスイーツを楽しむ」育児講座を開催し、多数の保護者の方々に参加して頂きました。貯金箱やマグネット、カードスタンド、スイーツボックスにそれぞれ好きなデコスイーツを飾り付けして完成したものを見て「おいしそうに見える!」「かわいい!」との声が多く聞かれ、楽しみました。出来上がった小物は、冬の家庭の食卓をかわいらしく色取ってくれることでしょう。



「おいしい!」を 子どもたちと一緒に!



食育をテーマに取り上げて3年になります。
食育は子育ての基本であり、豊かな人間性を育み生きる力の
ねっこです。私たちは、子どもたちが「食べたい」という
意欲をもち、「おいしい!」と味わうことができるように、
保護者の方々のご理解とご協力の下、園長を始め、保育者、
給食担当者、看護師など全職員が協働しながら様々な
食育活動に取り組んでいます。

「食を通して伝えたいこと」 園長 高橋 明美

園長先生



ここ10年くらい前から「食育」と言う言葉を頻りに耳にします。
季節に関係なく様々な食材が簡単に手の届くところにあり、食べ物
に関しては非常に豊かで、まさに飽食時代と言えます。しかし反面
家庭の食卓からは手作りの料理が減り、家庭の味というものも薄れ
てきているように思います。

今私たちの生活においては、好きな物を好きな時間に好きなだけ
食べることが出来るようになり、そうした状況が栄養の偏りを招く結果となったり、食事時間の乱れや肥満生活習
慣病といった新たな問題が生じてきていることも事実です。一方このように豊かな時代にありながら、今この地球
上では、飢餓で苦しんでいる人が8億人もいっているとされています。日頃何不自由なく食することの出来る私たちに
は無関係なこととして、気に留めることはほとんどありません。

しかし、こうした現実にも目を向けながら、一見豊かに見える「食」について、私たちは今改めて考えてみる時期
にきているように思えます。何をどのように食べるのか、また食事のマナーや自然の恵みへの感謝の気持ちなど食育
にまつわる多くのことにまず私たち大人が関心を持ち、同時に目の前にいる子どもたちに伝えながら、共に「食育」
について考えてみたいと思います。

クリームは
たっぷりよ。



料理



“おいしい”をつくる子どもの手

みんなで食事のお手伝いをしたり、畑で自分
たちが育てた野菜や旬の食材でクッキングを
しています。子どもたちの手で食べものはま
すますおいしさを豊かにしていきます。

どうもろこし、
早くでてこい
でてこい。

お箸こう?



そうね~

文化

受け継いでいきたい、日本文化

子どもの健やかな成長を願ったり生活の知恵を学
んだりしながら伝統料理、郷土料理と一緒に味
わっています。親から子へ、子から孫へ、人から
人へ、食は文化を伝えます。受け継いで
いきたい文化を大切にしています。

もちつきべったん!
力持ちの年長さん。



羊の
パバロア



健康

育てたい 健康な心と身体

自分が食べる量を考えながら、
自分で食事を盛りつけたり、
食べ物の働きに興味を持って
色々な食べ物を進んで食べようと
したりする中で、健康な心と
体づくりをしています。

おいしい
笹巻きに
な~れ



だんご
ころころ~



このくらい
食べられるよ。



人間関係

あたたかな 人との絆

子どもたちみんなで食事を楽しめる
”あおぞらルーム”ここでは、
いろんな人たちと一緒に
食事を囲みながら食べることを楽しん
でいます。
美味しいをわかち合い、
温かい人との絆を育てています。

ごくごく...
おいしいね~



うわあ~!
わけっこして
食べようね。



りんご
おいしそう



おおきく
な~れ!



いのち

大切にしたい、いのちの育ち

園舎南側にはおひさま農園があります。
自分たちが愛情を持って育てた野菜だからこそ、親しみを感じ
られる身近ないのちへの気づきとなります。
そのいのちは、自分も同じ、家族に愛され大事に育て
られて大きくなっていると感じ、いつの時代も大切にしたい
「いのちの育ち」です。

うんとこしょ。
でっかい
だいこんだな!



ジャガイモ
大きくなれよ。

